

そのごみの捨て方、イエローカード

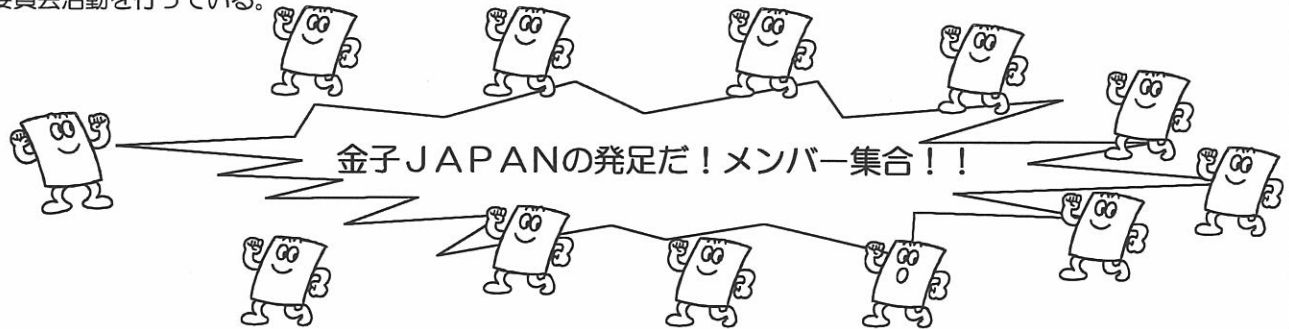


あざぶ きたみ
医療法人耳鼻咽喉科麻生北見病院 患者サービス改善委員会

けんじょうよしこ
発表者 麻生北見病院 検査科 見城 賀子

【メンバー紹介】

2005年4月に各種委員会が新体制となり患者サービス改善委員会にダスト委員会が併合され、委員も交代となった。新しく医局から委員長が任命され、医事課・栄養科・看護部・検査科・放射線科から委員がそれぞれ任命され、計12名で委員会活動を行っている。



【はじめに】

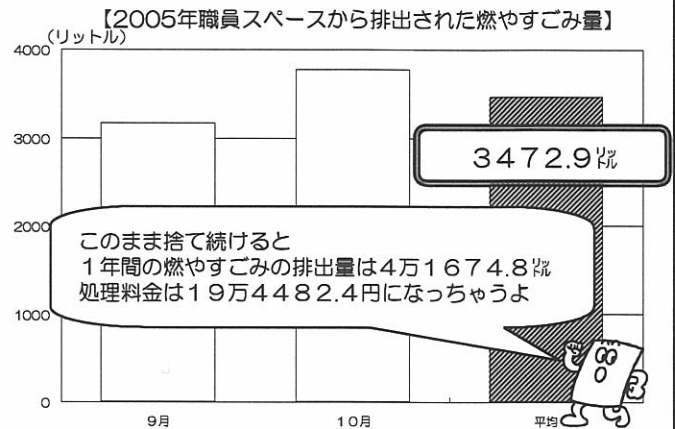
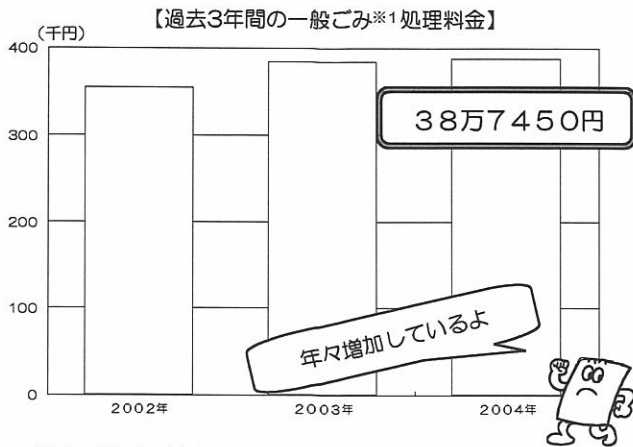
近年、世の中では『ごみ処理』について話題に挙がっている。当院においても例外ではなく、ごみ処理料金は増加傾向にある。2004年当院の検査科において、『燃やすごみ量の削減』についての活動を行い、約55%削減という結果を出した。そこで、患者サービス改善委員会ではその活動を元に『院内における燃やすごみの削減』についての活動を行う事になった。

【活動計画】

項目	2005年						2006年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現状把握	→								
目標の設定	→								
要因解析		→							
対策立案			→	→	→	→			
対策実施							→	→	→
効果確認								→	→
歯止め									→
反省									→

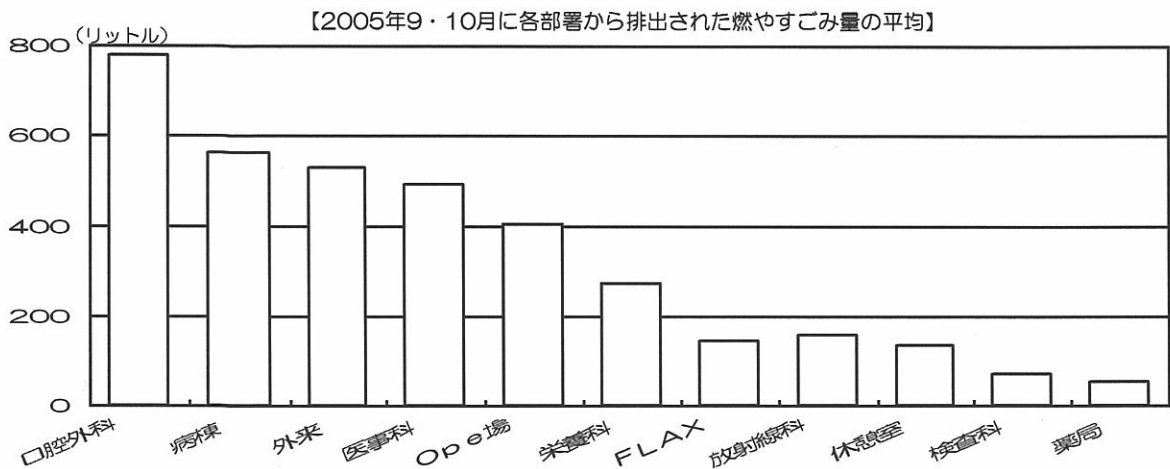
サークル名	北見患者サービス改善委員会 ～金子JAPAN～			(2005年4月 結成)	
リーダー氏名 (職種)	見城 賀子 (臨床検査技師)	所属部門	医療技術 (検査科)	月あたり会合回数	1～2回
リーダー経験年数	4年			平均会合時間	1時間
メンバーの数	計 12名 うち男 4名 女 8名	活動内容	コスト削減	平均会合出席率	100%
				テーマ歴 (このテーマで)	1件目

【現状把握】



※1一般ごみとは
 病院全体で排出される「燃やすごみ」
 「燃やさないごみ」「飲料用空きペットボトル」
 「飲料用空き缶」の総称

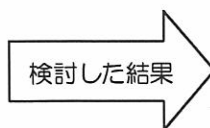
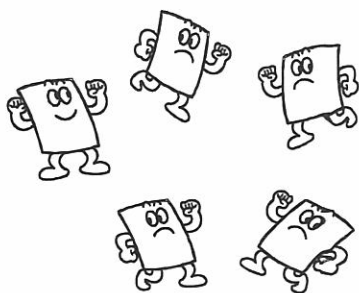
職員スペース別に
 分けると



【各部署から排出される燃やすごみの種類】

口腔外科：26種類	病棟：31種類	外来：34種類	医事課：22種類	Opel場：37種類
栄養科：25種類	放射線科：18種類	検査科：50種類	薬局：33種類	

【目標設定】



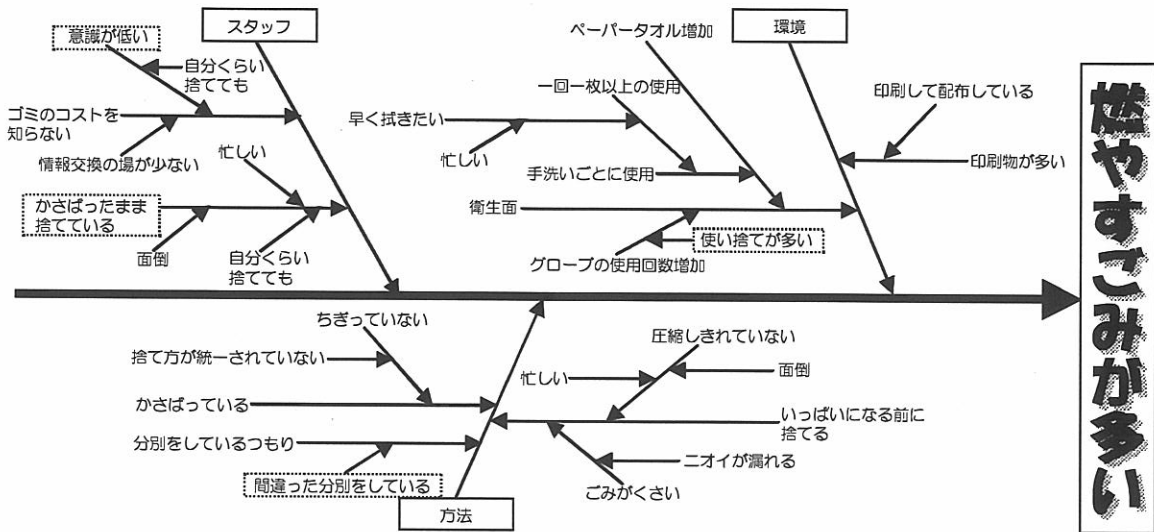
職員スペースから出るごみを
50%削減する



さあ、みんなで頑張ろう



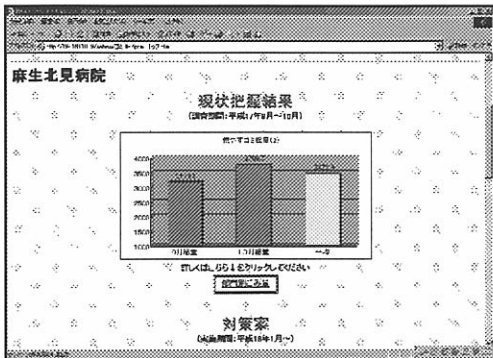
【要因解析】



【対策立案・実施】

いつ	どこで	誰が	何を	何故	どうする	
12月末	院内	委員	委員会ホームページ	意識を持たせるために	作成	
定期的	各部署		分別方法・内容など		指導	
12月末			専用道具	検査等の専用道具	使い捨てを減らす為に	設置
				専用のカーゼ・タオル		
				専用ごみ箱・表	分別を正しくする為に	
毎月	院内	全員	排出量、料金など	かさばらないようにする為に	把握	

具体例

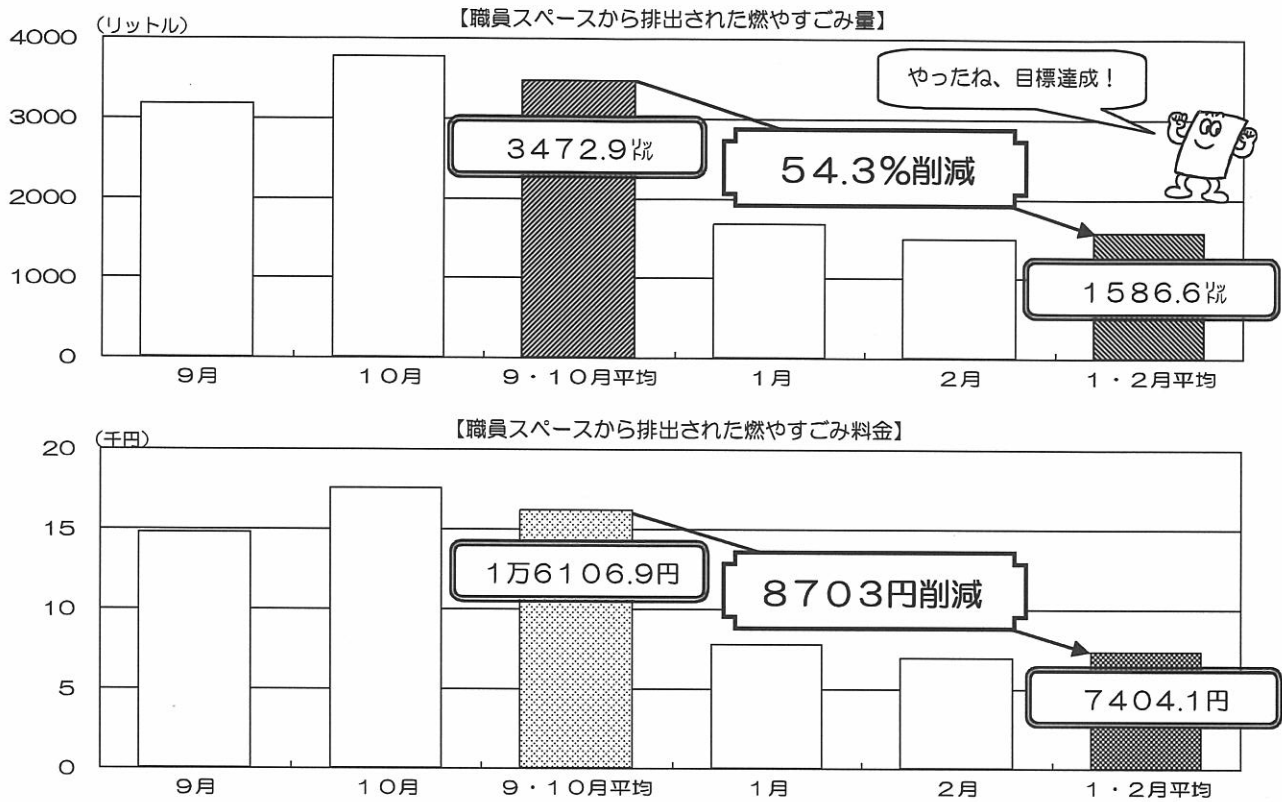


委員会ホームページ



分別表

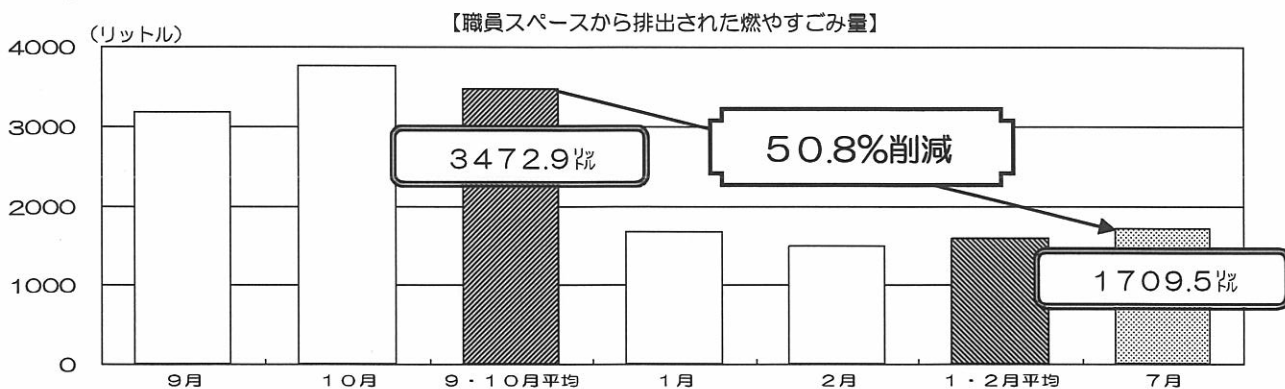
【効果確認】



【標準化】

いつ	どこで	誰が	何を	何故	どうする
毎月	ごみ庫	総務課	ごみ処理シール	処理料金を把握する為	チェックする
2006年7月	各部署	委員	ごみ量	増加の有無を把握する為	調査する
新入職員がいる場合	各部署	委員(責任者)	破棄方法	正しく分別出来るよう	指導する
不定期	院内	委員	委員会ホームページ	分別意識の強化の為	更新する
不定期	各部署	委員	資源ごみ・燃やすごみ	分別間違いがないか	確認する
定期的	各部署	委員	ごみ量	増加の有無を把握する為	調査する

【追跡調査】



【反省・今後の課題】

今回は2004年に行った検査科での取り組みを参考にし、院内全体の活動へと発展させた。部署によって排出されるごみの種類も様々で、対策検討などについては少々手間取ってしまったが、54.3%削減と目標達成する事が出来た。また追跡調査では50.8%の削減となり目標を維持する事が出来た。今後は燃やすごみ以外について分別方法の徹底などを行っていきたい。この活動は麻生グループの北見病院のみの活動報告となってしまったが、2006年7月から北見病院の協力の下に同グループの札幌病院でも削減活動を開始する事になった。